

令和3年8月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和3年8月25日（水）13時30分下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館2階大会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

佐々木 文夫	教育長
田中 とし子	委員
渡邊 亮治	委員
西堀 政幸	委員
天野 美香	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

糸賀 浩	学校教育課長
平川 博巳	生涯学習課長
土屋 大祐	学校教育課 参事
土屋 仁	学校教育課 課長補佐
内田 陽久	学校教育課 子ども育成係長
原 隆史	学校教育課 学校教育係長
金守 俊彦	生涯学習課 社会教育係長
澤地 彩	生涯学習課 図書係長

本会議録調製者は次のとおりである。

土屋 仁	学校教育課 課長補佐
------	------------

1 開会

13時30分教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に西堀 政幸委員を選出。

3 7月定例会会議録承認

事務局より資料に基づき説明、承認

4 教育長報告事項

8月事業報告及び9月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課長から資料に基づき説明。

教育長

それでは、参考資料の新聞記事に基づき報告する。

最初の記事は、下田中学校体育館が完成し、柿落としとして全校生徒が集まり終業式を行った。

次の記事は、パラリンピックの聖火にペリー上陸記念公園の日米友好の灯を使用し、採火式を行うこととなった。

次に8月11日に青色防犯パトロールの講習会実施の記事が掲載された。

市には20台分の青色パトランプがあり、各課で現場等へ向かう際にパトランプを装着し防犯パトロールを兼ねて巡回をお願いする。講習会を受講した職員には実施者証を交付した。

次に8月16日の東京パラリンピック採火式では、報告があったように、伊豆の国特別支援学校の小中学生により日米友好の灯から採火を行った。当日はあいにくの雨だったが、無事終了することができた。

翌日、採火した火で日本平において集火式を行った。

次に下田市更生保護女性会から、性教育、犯罪防止を目的とした絵本「おしえて！ くもんくん」を市内小学校に寄贈いただいた。賀茂地区の小学校にも寄贈すると聞いている。

次に、新型コロナウイルス関連について、7月25日に保育施設で1人の感染者が確認され、保健所の指示により園児、保育士全員に抗原定量検査を実施したところ、全員の陰性が確認できた。

7月27日から8月8日までは利用者に対して登園自粛をお願いした。

小中学校については、臨時の校長会を開催し、夏休みの活動、学校行事について、協議を行い中学校の部活動、補修、保護者面談等8月10日までに予定されていた活動は原則中止とし、教職員の行動ルールの徹底について依頼を行った。

また、7月下旬から8月上旬にかけての教職員の各種研修会についても原則中止又は延期とした。

施設の運営状況については、9月12日まで市の施設については閉鎖しており、図書館については、貸出し返却のみで30分の利用という対応となっている。

8月20日には、臨時校長会を開催し、緊急事態宣言発令中の2学期の対応について協議し、学校は休業しないこととし、教育委員会から小中学校長に対し、新型コロナウイルス感染症対策の徹底についての文書を発出した。

その裏面には、新型コロナウイルス感染症を拡大させないために、学校で確認すべきことを記載し、健康観察カードについては、今回の様式からは、家族からの感染が多くなっていることから同居の家族の状況についても記載できるような様式とした。

次のページは、各学校での点検を行うべきチェックリストで、保護者に対しても2学期以降の教育活動についての理解、協力をお願いした。

中学校の部活動については、緊急事態宣言発令中は中止とし、運動会、宿泊体験は中止または延期、宿泊活動を伴わない校外活動についても、校内での活動に変更、中止或いは延期とする。保護者に対しては、各学校から通知した。

次に地域の方については、市のホームページを利用し、学校の状況を周知するこ

ととしている。

新型コロナウイルス感染症関係については以上である。

先ほど学校司書の面接の報告があったが、2学期からはもう1人を会計年度職員として採用し、2人体制で小中学校11校を担当することとした。

田中委員

新型コロナウイルスのクラスターが発生した際の市の報告の中に10代という記載があり、児童なのか生徒なのか不明であるが、子ども達の感染がかなり多くなっている。

子どもが感染するという状況は、今までとは違っていると思われるが、この一連の報告はクラスター感染なのか、別の感染源なのか。

教育長

教育委員会としても詳細な情報は持ち合わせていないが、最初のクラスターが発生して、大分時間も経過している。

クラスター関連で感染者が発生している可能性もあるが、最初のクラスターからの流れではないのではないかと考えられる。

皆さんと同様な情報しか持ち合わせておらず、県から報告された内容でお知らせしている。

学校でクラスターが発生したという報道は各地でされており、明日から10校で2学期が始まることに多少心配している

田中委員

クラスターであればその感染ルートが分かるため、安心という訳ではないが、そのような状況が学校、幼稚園、保育所で発生するとなると重大な問題だと思う。

もう一点、下田市のワクチン接種の状況はどうなっているのか。

教育長

65歳以上の高齢者は、かなり接種が完了している。64歳以下は、まだ半分以下である。

田中委員

仮に学校で感染があった場合、子ども達を通じて家庭で感染が広がる可能性があることを心配するのだが、働き盛りの30代から50代の方達のワクチン接種が進んでいけば多少は安心できると思う。

学校教育係長

下田市では、8月22日現在、全体で1回目接種が65.9%、2回目が45.5%、県平均では1回目が41.9%、2回目が31%となっている。

田中委員

事務局職員はワクチン接種を受けているのか。

教育長

事務局職員は、まだ全員ではないが、学校関係者ということでワクチン接種に空きがあった場合、連絡があり優先的に接種を受けている。

田中委員 一般の保護者の方達は受けていない可能性があるのか。

学校教育課長 65歳以上の高齢者の接種については7月31日のデータでは、対象者8,742人中、接種済が7,591人、接種率は86.8%となっている。

教育長 高齢者については、かなり接種が進んでいるが、64歳以下の方についてはまだ、未接種が多いようである。
学校関係は、各学校から報告があり、教職員、支援員等含めて総数195人中接種者が171人と接種率は87.7%となった。
住所が他市町にある教職員は、住所地で接種している場合もあるため、下田市の数字とは、多少違いがあるかもしれない。
教職員はかなり進んでいるものと思われる。
子ども達については、中学校の1年生から3年生に加え、小学校6年生の12歳以上の児童約500人弱に接種券が送付されているが、正式な数字ではないが約52%の接種率とのことである。

田中委員 高校生の接種率はどうか。

教育長 申し訳ないが、高校生の接種率は把握していない。
噂では、高校生には大分陽性者がいるという話を聞いている。
他に無ければ教育長報告事項は承認する。

5 議事

(1) 議第36号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について
(令和3年度下田市一般会計補正予算第7号 教育委員会)

教育長 議第36号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について、令和3年度下田市一般会計補正予算第7号教育委員会を議題とする。
事務局の説明をお願いします。

生涯学習課長 はじめに、7月定例会、議第32号で承認いただいた、補正予算第5号は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、コロナ対策臨時交付金を活用したワクチン接種事業及び7月1日から5日にかけての大雨による災害復旧事業に係る予算のみに変更となり、生涯学習課からの要求分は全て削除され、今回の補正第7号予算に反映されたことを報告する。

学校教育課長 議第36号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和3年度下田市一般会計補正予算第7号教育委員会を別紙のとおり定めることについて、教育委員会の意見を求める。
教育委員会所管の、時間外勤務手当以外の一般職人件費を除く補正予算の内容につ

いて、歳入予算から説明する。

15 款 2 項 2 目 2 節児童福祉費補助金、子ども・子育て支援交付金 771 千円は、放課後児童クラブ運営及び来年度から白浜小学校で開設を予定している放課後児童クラブの準備経費に係る 1/3 の国庫補助金。

15 款 2 項 6 目 1 節小学校費補助金は 3,157 千円で、学校保健特別対策事業費補助金 2,338 千円は、コロナウイルス感染症対策として、小学校の保健衛生用品、教育活動継続に伴う備品等の購入に対する 1/2 の補助金の受け入れ。

公立学校情報機器整備費補助金 819 千円は、GIGA スクールサポーターの配置に対する国庫補助金で、補助対象事業費の 1/2 の額が交付される。

2 節中学校費補助金は、42,986 千円で、要保護児童生徒援助費 28 千円は、生活保護世帯の生徒に係る就学援助事業に対する補助金の受け入れ。

学校施設環境改善交付金 41,367 千円は、既存の屋内運動場改修に係る交付金の交付決定によるもの。

学校保健特別対策事業費補助金 1,123 千円は、コロナウイルス感染症対策として、中学校の保健衛生用品、教育活動継続に伴う備品等の購入に対する 1/2 の補助金の受け入れ。

公立学校情報機器整備費補助金 819 千円は、GIGA スクールサポーターの配置に対する国庫補助金の中学校分。

16 款 2 項 2 目 3 節児童福祉費補助金、放課後児童対策実施事業 771 千円は、来年度から白浜小学校に開設する放課後児童クラブの準備経費及び放課後児童クラブ運営に係る 1/3 の県補助金。

19 款 2 項 1 目 12 節、学校施設整備基金繰入金 5,000 千円の減額は、学校施設環境改善交付金の交付決定に伴う基金繰入金の減。

歳出予算を説明する。

3 款 3 項 3 目保育所費 1550 公立保育所管理運営事業は 1,548 千円の減額で、人件費については、会計年度任用職員の所要見込み額と時間外勤務手当の増額。

修繕料 700 千円は、保育室照明器具修繕等、管理用備品 590 千円は、給食食器保管庫 1 台の更新、各種会議出席者負担金 23 千円は、衛生推進者養成講習の受講料。

国庫償還金 16 千円は、令和 2 年度子ども子育て支援交付金の一時預かり事業に係る返還金。

4 目民間保育所費 1600 民間保育所事業、国庫返還金 1,483 千円及び県費返還金 619 千円は、令和 2 年度分の子どものための教育・保育給付費負担金に係る返還金。

5 目認定こども園費 1670 認定こども園管理運営事業は 2,585 千円の増額で、人件費については、会計年度任用職員の所要見込み額と時間外勤務手当の増額。

修繕料 50 千円は、不足見込み額。

3 款 3 項 6 目放課後児童対策費 1452 放課後児童対策事業は 2,221 千円の増額で、会計年度任用職員人件費については、所要見込み額によるもの。

白浜小学校放課後児童クラブの開設準備経費として、消耗品費 900 千円は、玩具、絵本、掃除機等、修繕料 1,300 千円は、2 階非常口の扉修繕等を実施する。庁用器具 1,300 千円は、テレビ、冷蔵庫、マット、長机、カーテン等を購入する。

国庫返還金 10 千円は、令和 2 年度分子ども子育て支援交付金の放課後児童健全育成事業に係る返還金。

8 目子育て支援施設管理運営費 1745 地域子育て支援センター運営事業、国庫返還金 140 千円は、令和 2 年度子ども子育て支援交付金の子育て支援拠点事業に係る返還金。

9 目子育て支援費 1749 子ども子育て支援事業は、356 千円の増額で、1 節報酬 子ども・子育て会議委員 24 千円の増額は、会議開催回数の増加見込みによるもの。

国庫返還金 224 千円及び県費返還金 108 千円は、令和 2 年度子ども子育て支援交付金の実費徴収に係る補足給付事業、子育てのための施設等利用費負担事業に係る返還金。

9 款 1 項 2 目事務局費 6010 教育委員会事務局総務事務は、7,820 千円の減額で、人件費については時間外勤務手当の増額、会計年度任用職員の所要見込み額によるもの。

消耗品費 226 千円は、コピー用紙代等の所要見込み額。

4 目学校教育指導費 6030 児童・生徒適応指導事業は、145 千円の減額で、会計年度任用職員の人件費の所要見込み額によるもの。

6031 特別支援教育体制推進事業、546 千円の増額は、会計年度任用職員の人件費の所要見込み額の減、及び支援員 5 名を増員するもの。

9 款 2 項 1 目小学校管理費 6050 小学校管理事業は 12,208 千円の増額で、会計年度任用職員人件費については、所要見込み額によるもの。

普通旅費 14 千円は、管内旅費、消耗品費は、874 千円で、各学校からの要望に対応し、修繕料は、10,368 千円で、各小学校の遊具、消防設備修繕、放送設備修繕等を予定、郵便料、家電リサイクル手数料の不足見込み額は 31 千円。

車借上げ料は 1,371 千円で学校要望に対応、複写機使用料 76 千円は、不足見込み額、管理用備品 123 千円カーテン購入。

2 目教育振興費 6090 小学校教育振興事業は、1,740 千円の増額で、人件費については、所要見込み額。

消耗品費 36 千円及び卒業記念品 71 千円は、各学校からの要望に対応した。

GIGA スクールサポーター配置促進業務委託 1,638 千円は、GIGA スクールサポーターを小中学校で 2 名を配置し、ICT 機器設定サポート、活用のアドバイス等を行う。

複写機使用料 15 千円は、各学校からの要望に対応、図書 80 千円は、不足見込み額、教材備品 32 千円のみシン 1 台の更新。

9 款 3 項 1 目中学校管理費 6150 中学校管理事業は 9,494 千円の増額で、人件費は所要見込み額。

消耗品費 729 千円、家電リサイクル手数料 10 千円、クリーニング代 36 千円は、各学校からの要望に対応した。

中学校用地測量業務委託 8,300 千円は、稲生沢中学校用地内の国有地の処理に向け用地測量を行う。

車借上げ料 385 千円は学校要望、複写機使用料 30 千円は、不足見込み額、庁用器具費 50 千円は、学校要望。

2 目教育振興費 6190 中学校教育振興事業費 GIGA スクールサポーター配置促進業務委託 936 千円の増額は、GIGA スクールサポーターの中学校分。

3 目中学校再編整備費 6195 中学校再編整備準備事業、下田市立中学校閉校記念パンフレット印刷製本費 385 千円は、既存 4 中学校で閉校記念パンフレットを作成する。

6196 中学校再編整備事業は、34,053 千円の増額で、IT 機器設定変更等業務委託 1,448 千円は、統合に伴う既存 3 中学校のタブレット端末・校務用パソコンの設定変更等。

充電保管庫移設業務委託 605 千円は、既存 3 中学校の端末充電保管庫の移設。

下田中学校グラウンド防球ネット設置工事 32,000 千円は、グラウンドに防球ネットを設置する。

9 款 4 項 1 目幼稚園費 6250 幼稚園管理事業は、5,872 千円の減額で、時間外勤務手当の増額、会計年度任用職員人件費の所要見込み額。

生涯学習課長

9 款 5 項 1 目社会教育総務費 6350 社会教育総務事務 951 千円の減額は、時間外勤務手当の増額と所要見込み額。

9 款 5 項 2 目青少年教育費 6401 青少年健全育成事業 89 千円は、10 月 30 日に実施予定の「子ども・若者育成支援強調月間静岡県大会 in 下田市」の開催に伴う、手話通訳 3 名とアトラクションへの謝礼。

9 款 5 項 2 目青少年教育費 6402 青少年活動推進事業 1,525 千円は、消耗品費感染症対策分として、成人式参加希望者へ新型コロナウイルス抗原検査キットを購入し郵送する。

9 款 5 項 4 目芸術文化振興費 6500 芸術文化振興事業 128 千円は、吉田松陰寓居処の管理人人件費の年間所要額。

9 款 5 項 5 目公民館費 6550 公民館管理運営事業 14,300 千円は、中央公民館電気設備改修工事で、受電設備の老朽化に伴う改修。

9 款 5 項 6 目図書館費 6600 図書館管理運営事業 100 千円は、図書館職員人件費の所要見込み額、修繕料 650 千円は、消火器の取替修繕及び屋上防水シートの修繕。

9 款 6 項 1 目保健体育費 6701 社会体育活動推進事業、下田河津間駅伝競走大会実行委員会補助金 200 千円は、第 50 回大会記念事業として、下田市・河津町の男女中学生の合同チームが伊東駅伝参加のためのユニフォーム代、表彰、記念品、感染症対策分 400 千円は、選手のバス送迎経費、マスク、消毒液等を、河津町と折半として負担するもの。

9 款 6 項 3 目下田市民スポーツセンター管理運営費 6752 下田市民スポーツセンター管理運営事業は、1,700 千円の増額で、会議室空調改修工事感染症対策分として、第 1 会議室の空調改修工事を行うもの。

9 款 8 項 1 目下田市民文化会館費 6900 下田市民文化会館管理運営事業は、14,050 千円の増額で、修繕料 620 千円は、下屋谷樋鋼板修繕で、大ホール 2 階への階段上部の軒下鉄部の腐食に伴う修繕。

大ホール天井改修実施設計業務委託 5,130 千円は、ネット工法による落下防止措置を行うための実施設計業務。

ワイヤレスマイク機器取替工事 3,000 千円は、電波法の改正により使用できなくなる大ホール・小ホール用のワイヤレスマイクの更新、自動火災報知設備更新工事 5,300 千円は、発信機・ベルなど、火災報知設備の経年劣化に伴う更新工事。

教育長 質疑があればお願いします。

田中委員 先ほどのコロナ感染を拡大させないためのチェックリストを見ると、日頃の教職員の仕事はかなり増えている感じがする。

特に小学校の場合は、小さな学校においては、教職員の数も少なく、更にコロナの感染について、十分な配慮が必要と感じている。

前回の緊急事態宣言時にはスクールサポートスタッフの予算が増額となり、配置していただき大変評判が良かった。

できれば、今回もこのような対応をお願いしたいが、予算は県費なのか。

もし県での予算が付かなければ、下田市独自で対策を実施し、スタッフを配置することで、感染を拡大しないことにつながると思う。

教育長 現状では、国・県のスクールサポートスタッフの予算配分の動きは全く無い。昨年は一学期、二学期と大分予算が確保された。

田中委員 市単独では、対応できないのか。

教育長 今回の総合教育会議の中で、ぜひそのような要望もあげていただきたい。

天野委員 最近災害が発生している中、学校関係の防災倉庫や備蓄等現在はどのような状況で、今後はどのように対応していくのか。

学校教育課
参事 学校では、子ども達は災害が発生した場合の個人用の備蓄はそれぞれ準備している。

天野委員 下田小学校では、前期、後期と個人用の備蓄品を準備している。

浸水区域の校舎に準備しているため、それが役立つのか分からない。

現在は、新型コロナウイルス感染症の対応ばかりが話題になるが、中学校も後統合を控えており、どのような対応をとるのか。

避難が3日4日と長期化した場合は、どうなるのか。

学校教育課
参事 ほとんどの学校で個人用の備蓄品は準備されているが、下田中学校のみ準備されていないようである。

教育長 災害の種類によって異なるであろうが、備蓄する場所も問題になる。

少なくとも個人で備蓄品を用意し、安全な場所を確保し、個人の備蓄品を準備するよう、事務局で各学校の状況を整理し対応したい。

天野委員 避難所に指定されている学校には地区の防災倉庫があるが、寒い日等毛布などの市の備蓄品を共有できればありがたい。

田中委員 個人用の備蓄品とはどのようなものなのか。

天野委員 各家庭によって異なっていると思うが、水、除菌ペーパー、日持ちのするおかゆ、ゼリーや溶けないチョコレート等を準備している。

田中委員 市の常備している備蓄品には入っていないのか。

学校教育課長 水、ご飯、乾パンなどは常備している。避難所としての備蓄であるので、子ども達も含めての避難者用の備蓄品である。

補佐

教育長 少なくとも個人の備蓄品については管理する場所も含めて、準備をするべく学校長と協議をする。

議第 36 号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について、令和 3 年度下田市一般会計補正予算第 7 号 教育委員会は、原案のとおり承認することで決定した。

(2) 議第 37 号 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会委員の委嘱の委嘱について

教育長 議第 37 号下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会委員の委嘱についてを議題とする。事務局の説明をお願いします。

学校教育課長 議第 37 号下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会委員の委嘱について、同委員会設置要綱第 3 条の規定により、別紙の者を下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会委員に委嘱することについて、教育委員会の承認を求めるもの。

提案理由は、任期満了に伴い委員を委嘱するもの。

委員は 4 人で 3 人が再任、新任が 1 人である。

任期については、承認いただければ、本日 8 月 25 日から令和 5 年 8 月 24 日までの 2 年間となる。

点検評価については 10 月から 11 月中の開催を予定したい。

全委員 異議なし。

教育長 議第 37 号下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会委員の委嘱については、原案のとおり承認することで決定した。

(3) 議第 38 号 下田市学校給食調理配送等業務委託事業者選定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

教育長 議第 38 号下田市学校給食調理配送等業務委託事業者選定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定についてを議題とする。事務局の説明をお願いします。

学校教育課長 下田市学校給食調理配送等業務委託事業者選定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について、教育委員会の承認を求めるもので、提案理由は組織機構の見直しに対応するもの。

内容については、今年度市の機構改革に伴い、統合政策課、総務課が、企画課、財務課、総務課の 3 課に再編されたもので、これまで統合政策課長と総務課長と規定されていたものを、それぞれ企画課、財務課に改めるもの。

給食調理配送等業務については、(株)レクトンに委託しており、委託期間が今年度末をもって満了となるため、今年度中に来年度以降の受託業者の選定を行うもの。

全委員 異議なし。

教育長 議第 38 号下田市学校給食調理配送等業務委託事業者選定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について原案のとおり承認することと決定した。

(4) 議第 39 号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

教育長 この件については特定の個人に対する情報が含まれる案件のため、非公開での審議をお願いしたい。

全委員 異議なし。

教育長 議第 39 号要保護及び準要保護児童生徒の認定について、は非公開で審議を行うこととする。

～非公開審議～

教育長 議第 39 号要保護及び準要保護児童生徒の認定については原案のとおり承認することを決定した。

<非公開での審議>

認定 2 件

6 協議報告事項

教育長 次に協議報告事項について、事務局の説明をお願いします。

学校教育係長 まず、前回報告した中学校制服のワッペンデザインが決定した。
制服納入業者により作成された2種類の見本の現物を確認しながら、8月20日開催の臨時校長会において選定を行った結果、波を表す部分がゴールド、4校を象徴するセールの部分がシルバーのパターンで決定した。

次に新中学校の校歌について、作詞作曲を依頼したミマス氏から8月上旬に原曲となる歌詞、メロディが完成したとの連絡があり、楽譜、歌詞に込めた思い、CDの送付があった。

歌詞に込めた思い、楽譜を資料として配布したため、ご覧いただきたい。

原曲のメロディに基づき、渡邊教諭が編曲を行い、渡邊教諭による歌唱、ピアノ伴奏の原案のデモテープが完成した。今から皆さんに聞いていただく。

この原案を元に、今後校歌検討プロジェクト会議を開催し、調整を進めて行く。

教育長 歌詞については、下田の情景についての思いが詰まっており、子ども達の意見も取り入れて作詞していただいた。

最後のフレーズの誇り高き下田中学については、原案では下田中学校であったが、歌いやすさを考慮し下田中学とし、また、メロディについても原曲から一音下げている。

歌詞やメロディそのものを変更することはできないが、ミマス氏からは、歌詞の一部のフレーズの変更や、音程についてもこちらにらせていただいている。

ミマス氏の合意を得ながら、校歌検討プロジェクト会議で協議して、調整する。

学校教育課長 令和2年度決算に基づく主要な施策の成果を配布した。これをもとに令和2年度教育委員会
補佐 の点検評価を実施したいため、確認をお願いしたい。

7 その他

教育委員会9月定例会を9月27日（月）13時30分から下田市立中央公民館大会議室で開催。

8 閉会

8月定例会 8月25日（水）13時30分開会。

教育長 15時10分に閉会を宣す。

会議録署名人